令和８年度　青森山田高等学校 通信制課程青森校 通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
論理国語	2	3	東京書籍「新編論理国語」	なし
評価方法	添削指導（計５回)、試験（年２回)、面接指導（計５回）での評価			

指導目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

〔評価の観点〕

評価は学習で身に付ける力を次の三つの観点から指導育成し評価します。

・「知識・技能」：学習指導要領の〔知識及び技能〕について指導したことを評価する。
・「思考・判断・表現」：学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕について指導したことを評価する。
・「主体的に学習に取り組む態度」：学習指導要領に直接該当する項目はないが、次の２つの側面を評価することが求められている。

①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする側面。
②①の粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする側面。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第１回 提出期限 5月 14 日	１広がる風景 読む 世界をつくり替えるために	読む(話す・聞く) 学ぶことの意味について考えながら、本文を通読しよう。 １「鳥が飛んでいるように」という比喩は、どのような状態を表しているか。 ２「心の中に『種』を宿しておくことが今はとても大切だ。」とあるが、自分の中の「種」について考えて話し合おう。 論理的な文章を読み、論理の力を鍛えよう。	【知技】 ・語句に注意しながら読み、読解力をつけ、語彙を増やしている。 【思判表】 「読むこと」において文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主】進んで、筆者の考えに向き合い、学習課題に取り組み、論理力をつけている。 【前期末試験】

第２回 提出期限 ５月 21 日	人間と知性 ラップトップ抱えた「石器人」	１具体的な例を挙げた部分と筆者の考えを述べた部分を確認しながら、本文を通読しよう。 ２「私たちは、ラップトップを抱えた『石器人』でもある」とあるが、それはどのようなことか。 ３「ヒューマンエラー」に対する筆者の考え方を読み取る。 ４「リスクの認識」について、筆者がどのような考えを述べようとしているのか第三段落から、脳の進化と文明の発展についての筆者の考えを読み取り、タイトルの意味を理解しよう。	【知技】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・［思判表］ ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において，関連する文章や資料を基に，書き手の立場や目的を考えながら，内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において，設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に，必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 ［主］積極的に筆者の主張を事実との関係に注意しながら読み取り，今までの学習を生かして人間の思考や脳の働きについて，複数の文章を読み比べながら，考えを深めようとしている。
第３回 提出期限 ９月 10 日	時代をひらく 最初のペンギン	読むこと １本文を通読し，初読の印象を挙げる。（手引き１） ２段落分けを行い，構成の概要を確認する。 ３「神ならぬ」や「有限の立場」などの語句，および「神」と「人間」の対立図式を確認し，第一段の内容を整理する。（手引き２） ４生きるために，不確実性のもとで決断し，海の中に真っ先に飛び込む「最初のペンギン」の行動の意味を確認し，第二段の内容を整理する。（手引き３） ５創造することは未知の世界にジャンプすることだという筆者の主張を捉え，第四段および文章全体の内容を整理する。	【知技】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ［思判表］ ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 ［主］積極的にタイトルに象徴される筆者の考えを読み取り，今までの学習を生かして自分の経験を振り返り，これからの生き方について考えようとしている。 【後期末試験】

第４回 提出期限 10 月 22 日	知のゆくえ もう一つの知性	１「情報化社会」とはどのような社会を言うのか。また，情報化社会で重要なことは何か，意見を述べ合う。 ２各段に述べられている「知の在り方」に注意しながら，本文を通読する。（手引き１） ３第一段Ｐ272・5 行目までを音読し，表現に即して内容を読み取る。 ４第一段の後半部分を音読し，例として挙げられている事項・用語を「情報通」と「知性」の二つのグループに分類する。（手引き２） ４筆者の思いを整理し、要旨を原稿用紙を使って字数内にまとめる。	［知技］ ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ［思判表］・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。
第５回 提出期限 12 月 10 日	明日をみつめて 未來のありか	・困難な時代における読書の役割について理解する。 １「未来の事物」「未来の時間」について考えたことを，具体的に挙げる。 ２四つの意味段落の小見出しと述べられている内容の関連を押さえながら，本文を通読する。 ３未来の事物の予想や予期や想像が個々の意識の中に生まれ，社会生活の中で共有されていく過程について読み取り，まとめる。 １「未来」が事前に想像されるものであることを，万国博の例をもとに読み取る。 ２「未来らしさを支えるもの」について，論の展開と構成を踏まえて，箇条書きにまとめる。 ３本文の内容を二百字程度で要約する。(論理の力) ２「未来のありか」についての筆者の考えを，私たちの生き方と関連づけてまとめる。 ４本文の内容を踏まえて，「未来」について考えたことを話し合う。	［知技］ ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ［思判表］・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 ［主］粘り強く筆者の示す具体例や資料から論旨をたどり，学習課題に沿って「未来」についての筆者の主張を踏まえたうえで，自分の考える「未来」について話し合い，自分自身の生き方についても考えを深めようとしている。

令和８年度　青森山田高等学校 通信制課程青森校 通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
文学国語	2	3	東京書籍「新編文学国語」	なし
評価方法	添削指導（計５回)、試験（年２回)、面接指導（計５回）での評価			

指導目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

〔評価の観点〕

評価は学習で身に付ける力を次の三つの観点から指導育成し評価します。

・「知識・技能」：学習指導要領の〔知識及び技能〕について指導したことを評価する。
・「思考・判断・表現」：学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕について指導したことを評価する。
・「主体的に学習に取り組む態度」：学習指導要領に直接該当する項目はないが、次の２つの側面を評価することが求められている。

①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする側面。
②①の粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする側面。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第１回	小説１ 山月記 資料 〈中国古典：「人虎伝」 ＣＤ〉	読む(話す・聞く) ・登場人物の心情を表現に即して把握し，主人公の内面と苦悩について考える。 １作者について予備知識を持ったうえで,現代社会の,あるいは自分が置かれた状況と同じ点，違う点について考える。 ２語句の意味を確認し，漢文調を生かした語句の意味を明らかにする。（手引き１）	［知技］ ・言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について，体系的に理解し使っている。 ［思判表］ ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開，描写の仕方などを的確に捉えている。

提出期限 4月16日		3第三段を中心に，虎となった李徴の心情を考える。 4第四段・第五段を中心に，李徴の心情，生き方を探る。 5これまでの学習を踏まえて，李徴が虎になった理由についてどう分析しているかを押さえ，主題に迫る。 6李徴の生き方について話し合う。(言語活動)	［主］粘り強く登場人物の心情を把握し，学習課題に沿って主人公の内面と苦悩を理解して，その生き方について考え，話し合おうとしている。
第2回 提出期限 4月23日	小説2 あの朝	登場人物の状況や心情の変化を読み取る。 1市子の場面ごとの状況と，それに伴う心情の変化に注意しながら本文を通読する。(手引き1) 2市子は結婚前の「朝の時間」をどのように過ごし，それをどのように感じていたか読み取る。 3結婚後の市子の「いき当たりばったりのような暮らし」とはどのような暮らしのことで，それをどう感じているか読み取る。 4市子のように「なくすことで好きになったあれこれ」について，自分の経験を振り返り，考えをまとめ，話し合う。(言語活動)	［知技］ ・言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ［思判表］ ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開，描写の仕方などを的確に捉えている。 ［主］市子の状況から粘り強く心情の変化を読み取り，学習課題に沿って自分の「なくすことで好きになったあれこれ」について市子の場合と比較して考え，話し合おうとしている。
第3回 提出期限 6月18日	詩歌 永訣の朝	1作者について，事前に知っていることを挙げ，経歴や作者の文学傾向を知る。 2表現やリズムに留意して，情景や心情を味わいながら音読する。 3作者の心境の変化や，時間の移り変わりを考えながら，全体を四つに分ける。 4作者独特の表現がされた部分を抜き出し，表現の背景にあるものについて考える。 5筆者と妹トシの精神的つながりを理解し、最期に残したトシの思いを理解する。	［知技］ ・言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ［思判表］ ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開，描写の仕方などを的確に捉えている。 ［主］粘り強く作品に表現された内容を把握し，学習課題に沿って作品の主題と，それを支える優れた表現を見つけようとしている。

第４回

第４回 提出期限 11 月 5 日	知のゆくえ もう一つの知性	１「情報化社会」とはどのような社会を言うのか。また，情報化社会で重要なことは何か，意見を述べ合う。 ２各段に述べられている「知の在り方」に注意しながら，本文を通読する。（手引き１） ３第一段Ｐ272・5 行目までを音読し，表現に即して内容を読み取る。 ４第一段の後半部分を音読し，例として挙げられている事項・用語を「情報通」と「知性」の二つのグループに分類する。（手引き２） ４筆者の思いを整理し、要旨を原稿用紙を使って字数内にまとめる。	［知技］ ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ［思判表］・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。
	明日をみつめて 未来のありか	・困難な時代における読書の役割について理解する。 １「未来の事物」「未来の時間」について考えたことを，具体的に挙げる。 ２四つの意味段落の小見出しと述べられている内容の関連を押さえながら，本文を通読する。 ３未来の事物の予想や予期や想像が個々の意識の中に生まれ，社会生活の中で共有されていく過程について読み取り，まとめる。 １「未来」が事前に想像されるものであることを，万国博の例をもとに読み取る。 ２「未来らしさを支えるもの」について，論の展開と構成を踏まえて，箇条書きにまとめる。 ３本文の内容を二百字程度で要約する。(論理の力) ２「未来のありか」についての筆者の考えを，私たちの生き方と関連づけてまとめる。 ４本文の内容を踏まえて，「未来」について考えたことを話し合う。	［知技］ ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ［思判表］・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 ［主］粘り強く筆者の示す具体例や資料から論旨をたどり，学習課題に沿って「未来」についての筆者の主張を踏まえたうえで，自分の考える「未来」について話し合い，自分自身の生き方についても考えを深めようとしている。

令和８年度　青森山田高等学校 通信制課程青森校 通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
日本史探求	２	３	東京書籍「日本史探求」	なし
評価方法	添削指導（計４回）、試験（年２回）、面接指導（計４回）での評価			

指導目標

１）歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解させるとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深め、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。

２）歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

〔評価の観点〕

評価は学習で身に付ける力を次の三つの観点から把握します。

（技能・知識）

・情報全体の傾向性を踏まえて、社会的事象等を調べまとめる技能（社会的事象等に関する情報を収集する・読み取る・まとめる技能）を身に付けている

（思考・判断・表現）

・社会的な見方・考え方を用いて、社会的事象等を見出し、社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連を考察している

（主体的に学習に取り組む態度）

・学習対象（社会的事象等）について、問いや追究の見通しを持って主体的に調べ分かろうとして課題を振り返り、学んだことの意味に気付いて意欲的に追究している

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第１回 提出期限 ５月 14 日	第１編　先史・古代の日本と東アジア 第１章　先史社会の生活と文化 第２章　歴史資料と先史・古代の展望 第３章　古代社会の形成と展開	１：旧石器時代の日本 ２：縄文文化 ３：弥生文化と小国家の形成 ４：先史・古代の歴史を組み立てる資料の特質 ５：東アジアとの交流のなかでうかびあがる歴史 ６：木簡が語る律令国家の実態 ７：大和王権と古墳文化 ８：飛鳥の朝廷と文化 ９：律令国家の形成と白鳳文化 10：平城京と天平文化 11：平安遷都と唐風文化 12：貴族社会と摂関政治 13：国風文化	・先史社会の生活と文化について ・大和王権と古墳文化から飛鳥の朝廷と文化までについて ・東アジアとのかかわりの中での日本史のとらえ方について ・律令国家の形成と白鳳文化から平城京と天平文化までについて ・摂関政治と貴族文化と、平安遷都と唐風文化について

第2回 提出期限 6月25日	第２編　中世の日本と世界 第１章　中世社会の成立 第２章　歴史資料と中世の展望 第３章　中世社会の展開	１：朝廷政治の変容 ２：武家権力による日本社会の変容 ３：中世日本の国際交流 ４：鎌倉幕府の誕生 ５：執権による政治 ６：モンゴル襲来と社会の変貌 ７：鎌倉の仏教と文化 ８：南北朝の動乱と室町幕府の成立 ９：倭寇と東アジア国際交流 10：室町時代の社会と経済活動	・中世社会の成立および中世社会の展開について ・中世の日本と世界について ・中世社会の展開について ・南北朝の動乱と室町幕府の成立および倭寇と東アジア国際交流について ・室町時代の社会と経済活動および自立する戦国大名について ・室町文化について 【前期末試験】
第3回 提出期限 9月17日	第３編　近世の日本と世界 第１章　近世社会の形成 第２章　歴史資料と近世の展望 第３章　近世社会の展開	１：地球的世界の形成と日本 ２：参勤交代と幕藩体制 ３：百姓たちの生活世界 ４：江戸時代の対外関係 ５：近世の身分と人々の暮らし ７：アジアのなかの幕藩体制 ８：武断政治から文治政治へ ９：幕藩体制下の社会の発展 10：近世社会の成熟と危機の始まり 11：幕藩体制の立て直し	・近代社会の幕開けと近現代社会の展開について ・幕藩体制の確立について ・近世の身分と人々の暮らしについて ・アジアのなかの幕藩体制について ・武断政治から文治政治について ・享保の改革と経済の発展について
第4回 提出期限 1月14日	第４編　近現代の地域・日本と世界 第１章　近代社会の幕開け 第２章　歴史資料と近現代の展望 第３章　近現代社会の展開 第４章　現代の日本の課題の探究	１：幕府の崩壊と明治維新 ２：資本主義の発展と生活 ３：国民国家と政治参加 ４：近代的制度の導入と新しい国際関係 ５：国民国家と資本主義の成立 ６：両大戦間期の日本 ７：第二次世界大戦と日本 ８：占領と改革 ９：国際社会への復帰と高度経済成長 10：アジア情勢の変化と経済大国日本 11：新しい国際秩序と日本の課題 12：伝統や文化の継承と創造	・開国と開港から幕府の崩壊と明治維新について ・東アジア世界のなかの明治政府及び政府専制への批判について ・近現代社会の展開の中の、国民国家と資本主義の成立について ・近現代社会の展開の中の、両大戦間期および第二次世界大戦の日本について ・近現代社会の展開の中の、占領と改革、日本国憲法の成立について ・近現代社会の展開の中の、新しい国際秩序と日本の課題について 【後期末試験】

令和８年度　青森山田高等学校 通信制課程青森校 通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
公共	２	３	東京書籍「公共」	なし
評価方法	添削指導（計４回）、試験（年２回）、面接指導（計４回）での評価			

指導目標

１）選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにし、現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

２）よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めさせる。

〔評価の観点〕

評価は学習で身に付ける力を次の三つの観点から把握します。

（技能・知識）

・情報全体の傾向性を踏まえて、社会的事象等を調べまとめる技能（社会的事象等に関する情報を収集する・読み取る・まとめる技能）を身に付けている

（思考・判断・表現）

・社会的な見方・考え方を用いて、社会的事象等を見出し、社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連を考察している

（主体的に学習に取り組む態度）

・学習対象（社会的事象等）について、問いや追究の見通しを持って主体的に調べ分かろうとして課題を振り返り、学んだことの意味に気付いて意欲的に追究している

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第１回 提出期限 ５月21日	第１部　「公共」のとびら 第１章　青年期を生きる私たち 第２章　他者とともに生きる人間としてのあり方 第３章　公共的な空間における倫理 第４章　公共的な空間における基本原理 第２部　自立した主体として社会に参画する私たち 第１章　民主政治と私たち	１：青年期における自己形成 ２：キャリア開発と社会参画 ３：個人として尊重しあう人間 ４：公共的な空間を作る人間 ５：伝統・文化の中で生きる人間 ６：功利主義と幸福の原理 ７：義務論と公正の原理 ８：公共的な空間における協働 ９：日本国憲法の原理・理念 10：民主政治と政治参加	・現代社会における青年期と自己形成、進路について ・三大世界宗教、功利主義と義務論について ・青年期、義務論、協働について ・先哲の思想、民主主義、日本国憲法について ・民主政治について ・日本の政治の仕組みについて

第２回 提出期限 ６月25日	第２部　自立した主体として社会に参画する私たち 第１章　民主政治と私たち 第２章　法の働きと私たち	11：メディアと世論 12：情報社会のリテラシー 13：法や規範の意義と役割 14：市民生活と私法 15：国民の司法参加	・メディアと世論、世界の政治の仕組みについて ・防災、投票率の低下、情報社会との付き合い方について ・法のはたらきについて ・市民生活と法について ・国民の司法参加について ・社会秩序、契約、刑事手続きについて 【前期末試験】
第３回 提出期限 10月15日	第３章　経済社会で生きる私たち 第４章　私たちの職業生活	16：現代の経済と市場 17：市場経済における金融の動き 18：財政の役割と持続可能な社会保障制度 19：働くことの意義と職業選択 20：労働者の権利と雇用・労働問題	・現代の経済と市場について ・市場経済における金融の働きについて ・財政の役割と持続可能な社会保障制度について ・最低賃金の引き上げ、起業家の資金調達、水平的公平について ・労働について
第４回 提出期限 １月14日	第５章　国際社会のなかで生きる私たち 第３部　持続可能な社会づくりに参画するために	21：国際社会のルールとしくみ 22：国際社会と平和主義 23：国際平和への課題 24：グローバル化する国際経済	・国際社会とルールのしくみについて ・国際社会と平和主義について ・働くことの意義、労働環境、国連について ・国際平和への課題について ・グローバル化する国際経済について ・国際経済とその課題について ・グローバル経済、SDGsについて 【後期末試験】

令和8年度　青森山田高等学校　通信制課程青森校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教　科　書	教科担当者	副教材
数学Ⅱ	3	3年	東京書籍「新数学Ⅱ」	瀧澤 収作	なし
評価方法	添削指導（計８回）、 試験（年２回）、 面接指導（８回）での評価				

指導目標
　(1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・　法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
　(2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って総合的・発展的に考察したりする力を養う。

評価の観点
【主体性】
・数学の良さを認識し数学を活用し、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断している。
・問題解決の過程を振り返って考察を深めている。
【知識・技能】
・いろいろな式、図形と方程式、三角関数、指数関数、対数関数、微分法、積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。
・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付ける。
・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明確・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力を身に付ける。
【思考・判断力・表現力】
・数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察したりする力を身に付ける。
・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を考察する力を身に付ける。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第1回 実施日 4月16日 提出期限 5月14日(木)	1章 方程式・式の照明 1節 式の計算 ①3次の乗法公式と因数分解	1. 3次の乗法公式 2. 3次の因数分解	面接指導(～12月3日(木)まで) ・3次の乗法公式や因数分解の公式について
第2回 実施日 5月21日 提出期限 6月4日(木)	1章 方程式・式の照明 1節 式の計算 ②二項定理	1. パスカルの三角形 2. 二項定理	・パスカルの三角形の利用について ・二項定理の利用について
第3回 実施日 6月4日 提出期限 6月25日(木)	1章 方程式・式の照明 1節 式の計算 ③分数式のかけ算とわり算	1. 分数式とその約分 2. 分数式のかけ算とわり算	・分母に文字をふくんだ式のかけ算とわり算の計算のしかたについて ■前期単位認定試験【7月１日～16日】
第4回 9月10日 提出期限 10月8日(木)	1章 方程式・式の照明 1節 式の計算 ④分数式のたし算とひき算	1. 分母が等しい分数式のたし算とひき算 2. 分母が異なる分数式のたし算とひき算	・分数式のたし算とひき算の計算のしかたについて
第5回 実施日 10月8日 提出期限 11月5日(木)	1章 方程式・式の照明 2節 2次方程式 ①複素数	1. 複素数 2. 複素数の計算	・数の範囲を広げて、負の数の平方根について ・数の範囲を複素数まで広げたとき、その計算はどのようにすればよいかについて

第6回 実施日 11月5日 提出期限 11月19日(木)	1章 方程式・式の照明 2節 2次方程式 ①複素数 ②複素数の計算	1. 複素数 2. 複素数の計算	・数の範囲を広げて、負の数の平方根について ・数の範囲を複素数まで広げたとき、その計算はどのようにすればよいかについて
第7回 実施日 11月12日 提出期限 12月2日(木)	1章 方程式・式の照明 2節 2次方程式 ③2次方程式の解 ④解と係数の関係	2次方程式の解の種 1. 類判別式と解の種類 2. 2次方程式の解と係 3. 数の関係	・2次方程式を複素数の範囲で解くことについて ・2次方程式の解の種類について ・2次方程式の解と係数の間に成り立つ関係について
第8回 実施日 12月3日 提出期限 1月14日(木)	1章 方程式・式の照明 3節 高次方程式 ①多項式のわり算 ②因数定理 ③高次方程式	1. 多項式のわり算 2. 因数定理 3. 高次方程式	・多項式のわり算について、商や余りの間にどのような関係が成り立つかについて ・多項式を因数分解するときに役に立つ定理について ・2次方程式より次数が高い方程式を解く方法について ■後期単位認定試験【1月20日～1月21日】

令和８年度　　青森山田高等学校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
化学基礎	2	3 年	東京書籍「化学基礎」	なし
評価方法	添削指導（計　9　回），試験（年２回），面接指導（年　9　回）での評価			

指導目標

〇自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けさせる。

〇観察，実験などの基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録、整理する方法を明確にし、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けさせる。

〇自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し，根拠を基に導き出した考えを表現させる。

〇自然の事物・現象に主体的にかかわり，それらを科学的に探究しようとするとともに，探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとさせる。

（評価の観点）

【知識・技能】自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。
観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】〇自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し，観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，根拠を基に導き出した考えを表現している。

【主体的に取り組む態度】自然の事物・現象に主体的にかかわり，それらを科学的に探究しようとするとともに，探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている.

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 5 月　　14 日	1 編　物質の構成	1章　物質の成分と構成元素 1節　物質の成分 2節　物質の構成元素 3節　物質の三態	面接指導（～１月１4日まで） ・純物質と混合物の性質。 ・混合物の分離。 ・純物質の単体と化合物への分類。 ・同素体。 ・物質の三態。
第　2　回 提出期限 5 月　　28 日		2章　原子の構成と元素の周期表 1節　原子の構造 2節　電子配置と周期表	・原子の大きさや構造。 ・放射性同位体と年代測定や医療。 ・電子配置による電子殻への電子の収まり方。
第　3　回 提出期限 6 月　　11 日		3章　化学結合 1節　イオンとイオン結合 2節　分子と共有結合 ３節　金属と金属結合 ４節　化学結合と物質の分類	・原子やイオンの結びつき。 ・分子は、非金属元素の原子が結びついてできた粒子であること。 ・金属は、金属元素の原子が規則正しく配列してできた結晶であること。 ・周期表の分類と結合の種類との間に、どのような関係性が見られるか。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　4　回 提出期限 6 月　　25 日	2編　物質の変化	1章　物質量と化学反応式 1節　原子量・分子量・式量 2節　物質量 3節　溶液の濃度	・原子の相対質量。 ・原子量、分子量、式量のそれぞれが表す値。 ・物質量とその単位のmolの関係。 ・原子量・分子量・式量との関係やモル質量との関係。 ・物質量と気体の体積との関係。 ・気体の密度と分子量、空気の平均分子量。
第　5　回 提出期限 7 月　　1 日		4 節　化学反応の表し方 5 節　化学反応式の表す量的関係	・化学反応式やイオン反応式の書き方。 ・化学反応式の係数が表している量的関係。 ・化学変化に伴う質量変化に注目した化学の基本法則。
第　6　回 提出期限 10 月　　8 日		2章　酸と塩基 1節　酸と塩基 2節　水素イオン濃度とｐH	・酸と塩基の性質。 ・酸と塩基の価数。 ・酸と塩基の強弱の違い。 ・水素イオン濃度の大小。 ・ｐH指示薬と変色域。
第　7　回 提出期限 11 月　　12 日		3 節　中和反応と塩の生成 4 節　中和滴定	・酸と塩基が完全に中和するときの変化。
第　8　回 提出期限 12 月　　3 日		3章　酸化還元反応 1節　酸化と還元 2節　酸化剤と還元剤	・中和の条件。 ・酸と塩基の組み合わせによる滴定曲線。
第　9　回 提出期限 1 月　　20 日		3 節　金属の酸化還元反応 4 節　酸化還元反応の応用	・酸化と還元。 ・酸化と還元が電子の授受によって統一的に説明できる。 ・代表的な酸化剤、還元剤。 ・金属と空気、水、酸などの反応性の違いと金属のイオン化傾向。 ・ダニエル電池のしくみ。

令和８年度　青森山田高等学校通信課程青森校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
体育	2	3年	大修館「現代高等保健体育」	なし
評価方法	添削指導（計　2　回），試験（年2　回）面接指導（年　10　回）での評価			

指導目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的，計画的な解決に向け た学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増 進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを 目指す。

（1）各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理 解するとともに，技　　能を身に付けるようにする。

（2）運動や健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向 けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。

（3）生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を 目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

（評価の観点）

【主体性】・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理し、自己のスポーツへの関わりを見出したりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見しようとしている。

【知識・技術】・スポーツの歴史、文化的役割について理解を深める。ともに、諸資料からスポーツの意義に関わる

【思考・判断力・表現力】・スポーツの歴史、文化的役割について理解を深めるとともに、諸資料からスポーツの意義に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめられるようにする。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第１～第５回 提出期限 6 月　　4 日	・春季遠足	・大自然の中でウォーキングとグループワーキング ・体力と技能の関係（遠足欠席者）	面接指導（～1月14日まで） ・簡易体操とウォーキング ・運動を効果的に行うために、目的にあった体力が必要なことへの理解
第6～第10回 提出期限 10 月　　22 日	・秋季遠足	・大自然の中でウォーキングとグループワーキング ・ライフスタイルに応じたスポーツ（遠足欠席者）	・簡易体操とウォーキング ・ライフスタイルは個人個人違うので自分にあったスタイルを見出す

令和８年度　青森山田高等学校通信課程青森校　通信教育実施計画書　教科担当者　對馬理夫

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
英語コミュニケーション Ⅱ	3	**３年**	All Aboard！　東京書籍 English Communication Ⅱ	
評価方法	添削指導(計 13 回)， 試験(年２回)，での評価			

指導目標

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域(以下この節において「五つの領域」という) 別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第１款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第１款の(3)に示す資質・能力を育成する。

必要な情報を読み取り、書き手や話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に捉えたりすることができる。

(評価の観点)

【主体性】書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好みなど、その理由を書いたり伝えようとすることができる。

【知識・技能】各文法を用いた文の形・意味・用法を理解する。

【思考・判断力・表現力】知識を基に、情報を整理・分析し(思考)、妥当性を評価して答えを導き(判断)、他者に伝える(表現)能力を自ら考えることで養われるようにする。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画
第１回 実施日 4/23 提出期限　５月７日	Pre-Lesson1 My Plants for This Year Lesson 1 A Colorful Iland ブラーノ島	関係代名詞 what …すること …するもの 診察時によく使う表現 症状を聞く/伝える	演習問題レポート No.1
第２回 実施日 5/21 提出期限　５月 21 日	Lesson 2 With the Beatles サムのリクエスト	比較表現 more…than～ the most 感覚や感情表現	演習問題レポート No.2

第３回 実施日 6/4 提出期限　6/月 17 日	Lesson 3 Wild Men ワイルドマンの世界	It の用法 It is …for-to～ It is …that～ 関係代名詞 what 比較表現	演習問題レポート No.3
第４回 実施日 6/18 提出期限　6 月 24 日	Lesson 4 Little Hero ハチドリのしずく	間接疑問文 be 動詞の場合 一般動詞の場合 よく使われる表現や語句	演習問題レポート No.4
第５回 実施日 6/25 提出期限　6 月 30 日	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki 歌舞伎メイクの物語	to 不定詞を含む表現 want 目的語 to do ask 目的語 to do tell 目的語 to do	演習問題レポート No.5 7/1【前期 期末考査】
第６回 実施日 9/17 提出期限　9 月 24 日	Reading 1 Mujina ムジナ	間接疑問文 不定詞を含む表現 動詞の形と時の関係	演習問題 レポート No.6～7
第７回 実施日 10/8 提出期限　10 月 15 日	Lesson 6 Seeds for Future Generations 伝統野菜を未来につなぐ	動詞の目的語となる if 節 wonder if～ ask 目的語 if～ 仕事や職業を表す表現	演習問題レポート No.8
第８回 実施日 10/22 提出期限　10 月 29 日	Lesson 7 Over the Wall アートで世界をつなぐ	関係副詞 where when	演習問題レポート No.9
第９回 実施日 11/5 提出期限　11 月 11 日	Lesson 8 Inspiration from Nature 目的のデザインに学ぶ	知覚動詞 知覚動詞＋O＋do 知覚動詞＋O＋doing	演習問題レポート No.10
第 10 回 実施日 11/12 提出期限　11 月 19 日	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate 苦いチョコの現実	使役動詞 make have let	演習問題レポート No.11
第 11 回 実施日 11/19 提出期限　12 月 3 日	Lesson 10 Fighting Angel ナイチンゲール	分詞構文 ～しながら ～のとき ～すると	演習問題レポート No.12
第 12・13 回 実施日 12/3・12/9 提出期限　1 月 20 日	Reading 2 Bear's Pie ベアーズパイ	内容を読んで物語の結末を考える	演習問題レポート No.13 1/20【後期 期末考査】

令和８年度　青森山田高等学校通信課程青森校　通信教育実施計画書　教科担当者　對馬理夫

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
論理・表現Ⅰ	2	**3年**	New Favorite English Logic and Expression　東京書籍	なし
評価方法	添削指導(計９回)，試験(年２回)，での評価			

指導目標

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域(以下この節において「五つの領域」という) 別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第１款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第１款の(3)に示す資質・能力を育成する。

必要な情報を読み取り、書き手や話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に捉えたりすることができる。

(評価の観点)

【主体性】書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好みなど、その理由を書いたり伝えようとすることができる。

【知識・技能】各文法を用いた文の形・意味・用法を理解する。

【思考・判断力・表現力】知識を基に、情報を整理・分析し(思考)、妥当性を評価して答えを導き(判断)、他者に伝える(表現)能力を自ら考えることで養われるようにする。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画
第１回 実施日 4/16 提出期限　４月 23 日	Lesson 1 初めての食事	料理をほめる 料理を勧める 料理を断る	演習問題レポート No.1
第２回 実施日 5/14 提出期限　５月 21 日	Lesson 2 道に迷う	提案する 依頼する 説明する	演習問題レポート No.2

第３回 実施日 6/4 提出期限　６月 18 日	Lesson 3 人物紹介	紹介する 注意をひく	演習問題レポート No.3 7/2【前期 期末考査】
第４回 実施日 9/10 提出期限　９月 17 日	Lesson 4 体調が悪い	体調を伝える 体調を尋ねる 指示・アドバイスをする	演習問題レポート No.4
第５回 実施日 9/17 提出期限　10 月８日	Lesson 5 買い物	描写する 相づちを打つ	演習問題レポート No.5
第６回 実施日 10/8 提出期限　10 月 22 日	Lesson 6 行ってみたい場所	希望を述べる 理由を述べる	演習問題レポート No.6
第７回 実施日 10/22 提出期限　11 月５日	Lesson 7 イベントに誘われる	誘う 誘いを受ける 誘いを断る	演習問題レポート No.7
第８回 実施日 11/12 提出期限　11 月 19 日	Lesson 8 スクールカウンセラーに 相談	状況を説明する 申し出る 助言・提案する 感謝する	演習問題レポート No.8
第９回 実施日 12/10 提出期限　12 月 18 日	Lesson 9 お気に入りを紹介	要約し、紹介する 感想や批評を述べる	演習問題レポート No.9 1/21【後期 期末考査】

令和８年度　青森山田高等学校通信課程青森校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
家庭基礎	2	3 年	東京書籍「家庭基礎」	なし
評価方法	添削指導（計　4　回），試験（年２回），面接指導（年　4　回）での評価			

指導目標

〇生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解し、自立の種類を理解する。
〇意思決定とは何かを理解し、意思決定の5段階と資源について考える。
〇家族・家庭と私たちの生活の結びつきを理解し，社会制度としての家族や家族について考える。
〇職業労働と家事労働の違いを理解し、見直される性別役割分業意識を自分自身にも関わることと意識する。
〇食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義・食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。
〇誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する。

（評価の観点）

【主体性】
様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組む。
振り返って改善し、自分や家庭・地域の生活を創造し、実践しようとしている。

【知識・技術】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭・衣食住・消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。

【思考・判断力・表現力】
生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 5 月　14 日	第１章 生涯を見通す 第２章 人生をつくる	1．人を展望する 2．目標をもって生きる 3．人生をつくる 4．家族・過程を見つめる	面接指導（～１月１４日まで） ・ライフステージの特徴を理解する。 ・自立、意思決定について考える。 ・これからの時代でどう生きるか考える。
第　2　回 提出期限 6 月　25 日	第３章 子どもと共に育つ 第４章 超高齢社会を共に生きる 第５章 共に生き共に支える	1．子どもの育つ力を知る 2．子どもと関わる 3．これからの超高齢化社会 4．共に生きる	・命に対する責任の大きさを理解する。 ・子どもの発達段階を理解する。 ・介護制度について学ぶ。 ・地域の中での暮らし方を考える。
第　3　回 提出期限 10 月　22 日	第６章 食生活をつくる 第７章 衣生活をつくる 第８章 住生活をつくる	1．食生活の課題 2．これからの食生活 3．衣服を管理する 4．住居の機能	・必要に応じた暮らし、社会を理解する。 ・家庭生活における福祉について理解する。 ・衣食住についての正しい知識を得る。 ・衣食住における私たちへの影響を理解する。
第　4　回 提出期限 11 月　12 日	第９章 経済生活をつくる 第１０章 接続可能な生活をつくる	1．生涯の経済生活を見通す 2．これからの経済生活 3．接続可能な社会	・日本の文化を理解する。 ・ユニバーサルデザインについて学ぶ。 ・地域コミュニティづくりを学ぶ。

令和８年度　青森山田高等学校通信課程青森校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
情報Ⅰ	2	3 年	東京書籍「新編 情報Ⅰ」	なし
評価方法	添削指導（計　4　回），試験（年1回），面接指導（年　4　回）での評価			

指導目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し，情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。

（2）様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

（3）情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う

（評価の観点）

【主体性】・情報社会とのかかわりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしているか。

【知識・技術】・事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつｋ効果的に用いているか。

【思考・判断力・表現力】・効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解しているか。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 8 月　31 日	1章　情報で問題を解決する	【1】情報とメディアの本質的な言葉の意味 【2】問題解決の流れの5つの段階、ブレーンストーミング、KJ法、マインドマップ 【3】日常的な場面での情報モラルと、知的財産権 【4】SNSの利用の注意点、著作物の引用の方法、情報技術の発展の正の側面と負の側面	面接指導（～9月3日まで） 情報とメディアの意味 問題解決の方法と５つの段階 情報モラルと知的財産 SNSの利用
第　2　回 提出期限 8 月　31 日	2章　情報を伝える	【1】ネットコミュニケーションの特徴 【2】デジタル表現で用いる語句と光の三原色と色の三原色の違い 【3】画像データがどのような構造になっているか 【4】情報デザイン	ネットコミュニケーションの特徴 デジタル表現で用いる語句 光の三原色と色の三原色の違い 画像データがどのような構造になっているか 情報デザイン

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　3　回 提出期限 8 月　　31 日	3章　コンピュータを活用する	【1】コンピュータの構成について基本的な用語や役割 【2】ソフトウェアと論理演算の仕組みと演算方法 【3】プログラムとシミュレーションの有効性 【4】APIとシミュレーションの利点	コンピュータの構成 基本的な用語や役割 ソフトウェアと論理演算の仕組み 演算方法 プログラムとシミュレーションの有効性 APIとシミュレーションの利点
第　4　回 提出期限 8 月　　31 日	4章　データを活用する	【1】インターネットの仕組みとURLの意味 【2】情報セキュリティ 【3】データの種類とデータベースの活用事例 【4】クラウドサービスの利点とデータ分析	インターネットの仕組みと情報セキュリティ データベースとクラウドサービスの利点

青森山田高等学校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
総合的な探究の時間	1	3 年	なし	なし
評価方法	添削指導（計　2　回），試験（なし），　面接指導（年　2　回）での評価			

指導目標

探究の見方・考え方を働かせ，横断的・総合的な学習を行うことを通して，自己の 在り方生き方を考えながら，よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を 次のとおり育成することを目指す。

１）探究の過程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究の意義や価値を理解するようにする。

２）実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。

3）探究に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

（評価の観点）

評価は学習で身に付ける力を次の三つの観点から把握します。

（技能・知識）・現実社会の諸課題の解決に向けて、その原因や背景、要因を探求するための手がかりとなる知識を見付けるとともに、様々な手段を用いて研究に必要な諸情報を適切かつ効果的に収集できる手法を身に付けている。

（思考・判断・表現）・探究活動を通して、現実社会の諸活動を多様な視点から分析し、その原因や解決への取り組みを導き出し、導き出した結論を証拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり、実現したりすることができている。

（主体的に学習に取り組む態度）・現代の諸課題を考察し、その課題の解決に向けての方策を主体的に追及しようとしている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回	LHR	学校生活について	・学校生活のきまりについての確認 ・授業、レポートについての確認 ・欠席に関しての確認
第　2　回	自己の生き方を考える	高校卒業後の進路	・高校卒業後の進路の選択肢について ・進学することのメリットとデメリット ・就職することのメリットとデメリット ・自身の高校卒業後の生き方について考える。